

2019年10月25日

蘭 Atum3D 社との 3D プリンティング向け紫外線硬化樹脂の共同開発について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、3D プリンターメーカーである Atum3D（本社：オランダ・ゴータ、社長：Tristram Budel、以下「Atum 社」）と、同社の光造形 3D プリンターで造形可能な紫外線硬化樹脂「ダイヤビーム™」（以下「ダイヤビーム」）の共同開発に成功しました。

なお、本ダイヤビームの開発グレードは、2019年11月19日～22日にドイツ・フランクフルトで開催されるヨーロッパ最大の 3D プリンター展示会「Formnext2019」に出展する予定です。

Atum 社は、光硬化タイプの液体樹脂に紫外線を当てることで樹脂を硬化させて造形する DLP 方式（Digital Light Processing）のオープン材料型 3D プリンターにおいて、欧州で確立された顧客基盤と技術を保有しています。同社は、保有するプリンター・ソフトウェアの製造技術と蓄積されたノウハウにより、特定の原料による造形のみではなく、顧客の要望に沿った樹脂を原料として造形することを可能としており、このたび、当社にて製造を予定する紫外線硬化樹脂ダイヤビームの共同開発に成功しました。

ダイヤビームは、紫外線硬化樹脂では両立することが難しい耐熱性と耐衝撃性をバランス良く持ち合わせ、さらに耐摩耗性にも優れています。この特性と光造形 3D プリントにより複雑な形状品の製造が可能なことから自動車の内装材などへの採用が期待されます。

当社グループは、今回の共同開発を含めて欧米市場とのネットワークを拡大することで 3D プリンティング用素材にかかわる戦略を進化させ、積極的な事業展開を図って参ります。

【Atum 社の概要】

社名	Atum3D
事業内容	DLP 方式 3D プリンターおよび関連システムの開発、製造、販売
所在地	オランダ・ゴータ
設立	2013 年
代表者	Tristram Budel（CEO 兼 CTO）

以上

お問合せ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
TEL 03-6748-7140